

ベルフォンテンレポート2008

今年も7月30日(水)～8月5日(火)、青少年育成事業として、鈴鹿市の友好都市であるオハイオ州・ベルフォンテン市に鈴鹿市内の中・高生と共に行ってまいりました。

今年も、少しでも意欲のある人に門戸を広げたいという思いから選抜方法を見直し、昨年までは、第一次選抜試験の合格者だけに行っていた面接試験を、筆記試験と共に全員に行う、というやり方に変えました。

自分の思いをアピールする。これは、日本人には不得意な分野かもしれませんが、アメリカでは重要な要素です。しかしアメリカに限らず、いかに自分の情熱を相手に伝えるか、相手を説得するか、ということは仕事でも、社会生活を送る上でもたびたび必要となる大切なことだと思います。

見事合格したのは、中学生6名(女子4名・男子2名)と高校生6名(女子4名・男子2名)の計12名です。学校も今年は様々で、バランスよく色々な中学・高校から生徒が集まりました。

生徒達は、皆とても前向きで素直！！練習も随分積極的に取り組みました。

スケジュール

ホームステイに入る前の今年の訪問先は、アトランタでした。

“アトランタ”と聞いて何を思い浮かべますか？ご年配の方は(失礼！笑)多分、「風と共に去りぬ」ではないでしょうか？

クラークゲーブルとヴィヴィアン・リー主演の名作です。

そのアトランタ訪問のメインの理由は、キング牧師の記念館があることでした。

昨年のベルフォンテン訪問メンバーが、デトロイトのフォードミュージアムで、ローザパークスのバスや KKK の衣装などを見て、当時の話を聞き、少なからずショックを受けたのを受けて、公民権運動繋がりでキング牧師の記念館のあるアトランタに注目したのです。



生徒達には、パフォーマンスの練習で集まった時など折に触れ、その話をしました。

人権について考えることは、在住外国人が1万人を越え、20人にひとりが外国人という鈴鹿市に住む私達にとっても、とても大切なことです。

生徒達には、この機会に、様々な角度から心で感じ、考えて欲しいという思いが通じたのか、生徒の一人が事前に勉強し、キング牧師について調べてきてくれました。そして記念館を訪ねるバスの中でそれをみんなに読み上げてくれました。

ここで学んだことを、彼らがまた、広げていってくれるといいなと思います。

アトランタでは、他に、CNN のスタジオとワールド・オブ・コカコーラを訪ねました。

CNN では、どのようにしてニュースができていくのか、最新技術の説明に感嘆の声をあげながら、生のスタジオ見学をしました。とても興味深かったです。

そして、ワールド・オブ・コカコーラでは、歴代のアメリカならではのポップなデザインのサイン(看板 etc.)が、これでもかと言うほど沢山あって、ワクワクしてしまいました。

宣伝力って大事ですね！アトランタは、コカコーラ社と共に成長・発展してきたようです。

7月30日(水)	鈴鹿出発 アトランタへ ワールド・オブ・コカコーラ見学 アトランタ泊
7月31日(木)	アトランタ CNN及びマーティン・ルーサー・キング・ジュニア(キング牧師)記念館 見学 ベルフォンテンへ ホームステイ
8月1日(金)	市内各施設訪問 ・市長表敬訪問 ・消防署見学 ・ローガン郡小中学校教育長訪問 介護施設見学 ・リトルラーナーズデイケアセンター ・ベルテック工場見学 ホームステイ
8月2日(土)	ホームステイ
8月3日(日)	フェアウェルパーティ ホームステイ
8月4日(月)	ベルフォンテン出発
8月8日(火)	帰国

さて、いよいよベルフォンテン！！ まずは、市内施設訪問です。



ベルフォンテン市庁舎では、今年就任したばかりの若干22歳の新市長アダム・ブラナンさんを表敬訪問。生徒は元気よく自己紹介をし、鈴鹿市長からのお手紙とプレゼントを渡しました。ベルフォンテン市長が若いせいか、最初からわりと打ち解けて、お話ができました。最後にカントリーロードの替え歌、ベルフォンテンバージョンを躍り付きで歌いました。

消防署では、昨年大人気だったマッチョな消防士さんに再会。今年も相変わらず女子達に人気でした。でも既婚者です。

毎年恒例の試着体験は、ジャンケンに勝った慎さんが着ることになりました。とっても重たいそうです。暑いし、重いし…大変なお仕事です。頭が下がりますネ。



保育所では、今年もかわいいおちびちゃん達が、私達を出迎えてくれました。

今年は、生徒達の意見から、日本の童話を紙人形劇にして英語で披露しよう！ということになり、かなり時間をさいて練習をしました。

もちろん全て手作りです。

小さな子ども達はじーっと生徒達の人形劇に聞き入り、楽しんでくれました。生徒達がつくった紙人形劇のセット一式は、台本と共に、この保育園に寄贈してきました。(^ _ ^)

その後は、ジェスチャーゲームをしました。

この時が一番、生徒達が生き生きと輝いていたように思います。

小さな子ども達もジェスチャーを見て、よく当てていました。

言葉が通じなくても、必死に伝えようとすれば、通じるんだ！ということを実感！？大変盛り上がりました。

最後はやはりカントリーロード・ベルフォンテンバージョン。

あちこちで、リクエストがあがり、私達はとうとう全ての場所で歌を披露しました。地元のメディアにも大きく取り上げられました。

4日間のホームステイを経て、最後の夜はフェアウェルパーティです。

練習してきたこと全ての集大成として、紙人形劇、鈴鹿の偉人や特産物を紹介するスピーチ、ラジオ体操と、どこでも大好評だったカントリーロードを合唱しました。



<ラジオ体操の様子>



<紙人形劇の様子>

鈴鹿の紹介では、鈴鹿の偉人、大黒屋光太夫と前川定五郎を、特産物は、鈴鹿墨と伊勢茶、煮干を、また観光スポットとして鈴鹿サーキットを紹介しました。

ラジオ体操も生徒のアイデアで大成功！

生徒達は、色々な場所で素敵な友情の華を咲かせ、立派に国際交流をしてきました。きっと、素晴らしい国際人に成長してくれることと思います。輝かしい未来に！